



## C コマンド

ここでは、[c] から始まる Cisco NX-OS ユニキャスト ルーティング コマンドについて説明します。

### clear bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを BGP テーブルから消去するには、**clear bgp** コマンドを使用します。

```
clear bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} {neighbor | * | as-number | peer-template name |  
prefix} [vrf vrf-name]
```

#### シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>unicast</b>	ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>multicast</b>	マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>neighbor</b>	ネットワーク アドレス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D、IPv6 の場合は A:B:C:D です。
<b>as-number</b>	Autonomous System (AS; 自律システム) 番号。範囲は 1 ~ 65535 です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<b>peer-template name</b>	BGP ピア テンプレートを指定します。名前は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<b>prefix</b>	選択されたアドレス ファミリのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length、IPv6 の場合は A:B:C:D/length です。

#### デフォルト

なし

#### コマンド モード

任意

#### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## ■ clear bgp

---

コマンド履歴

---

リリース 変更内容

---

4.0(1) このコマンドが導入されました。

---

4.0(3) IPv6 プレフィックスのサポートを追加しました。

---

---

使用上のガイドライン

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

---

例

次に、すべての BGP エントリを消去する例を示します。

```
switch# clear bgp all *
```

# clear bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルート フラップ ダンプニング 情報を消去するには、**clear bgp dampening** コマンドを使用します。

```
clear bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} dampening [neighbor | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<i>neighbor</i>	選択されたアドレス ファミリのネイバー。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>prefix</i>	選択されたアドレス ファミリのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意

**サポートされるユーザ ロール** ネットワーク 管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、BGP ルート フラップ ダンプニング情報を消去する例を示します。

```
switch# clear bgp all dampening
```

## clear bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルート フラップ統計情報を消去するには、**clear bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
clear bgp flap-statistics [neighbor | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>neighbor</i>	選択されたアドレス ファミリからのネイバー。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>prefix</i>	選択されたアドレス ファミリからのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、BGP ルート フラップ統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear bgp flap-statistics
```

# clear forwarding route

フォワーディング情報を消去するには、**clear forwarding route** コマンドを使用します。

```
clear forwarding {ip | ipv4 | ipv6} route [* | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<b>ip</b>	Ipv4 ルートを消去します。
<b>ipv4</b>	Ipv4 ルートを消去します。
<b>ipv6</b>	Ipv6 ルートを消去します。
<b>*</b>	すべてのルートをクリアします。
<b>prefix</b>	IPv4 または IPv6 のプレフィクス。IPv4 のフォーマットは、x.x.x.x/length です。IPv6 のフォーマットは、A:B:C:D/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、Forwarding Information Base (FIB) からのルートを消去する例を示します。

```
switch# clear forwarding ip 10.0.0.1/8
```

# clear ip adjacency statistics

隣接統計情報を消去するには、**clear ip adjacency statistics** コマンドを使用します。

**clear ip adjacency statistics**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、隣接統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip adjacency statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip adjacency	隣接情報を表示します。

# clear ip arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 情報を消去するには、**show ip arp** コマンドを使用します。

```
show ip arp [ip-addr | interface] [statistics] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 の送信元アドレス。フォーマットは x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。? を使用し、サポートされているインターフェイス タイプを判別します。
<b>static</b>	(任意) スタティック ARP エントリを消去します。
<b>statistics</b>	(任意) ARP 統計情報を消去します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、ARP テーブルを消去する例を示します。

```
switch# clear ip arp
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip arp</b>	ARP に関する情報を表示します。

## clear ip bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを BGP テーブルから消去するには、**clear ip bgp** コマンドを使用します。

```
clear ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} {neighbor | * | as-number | peer-template name | prefix} [vrf
vrf-name]
```

### シンタックスの説明

<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>unicast</b>	ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>multicast</b>	マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>all</b>	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<i>neighbor</i>	ネットワーク アドレス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D、IPv6 の場合は A:B:C:D です。
<i>as-number</i>	Autonomous System (AS; 自律システム) 番号。範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<i>peer-template name</i>	BGP ピア テンプレートを指定します。名前は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<i>prefix</i>	選択されたアドレス ファミリのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length、IPv6 の場合は A:B:C:D/length です。

### デフォルト

なし

### コマンド モード

任意

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

### 例

次に、IPv4 アドレス ファミリのすべての BGP エントリを消去する例を示します。

```
switch# clear ip bgp *
```



# clear ip bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルート フラップ ダンプニング 情報を消去するには、**clear ip bgp dampening** コマンドを使用します。

```
clear ip bgp {ipv4 {unicast | multicast}} dampening [neighbor | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<b>ipv4</b>	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>unicast</b>	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>multicast</b>	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。
<b>neighbor</b>	選択されたアドレス ファミリからのネイバー。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<b>prefix</b>	選択されたアドレス ファミリからのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意

**サポートされるユーザ ロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、BGP ルート フラップ ダンプニング情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip bgp dampening
```

## clear ip bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルート フラップ統計情報を消去するには、**clear ip bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
clear ip bgp flap-statistics [neighbor | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>neighbor</i>	選択されたアドレス ファミリからのネイバー。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>prefix</i>	選択されたアドレス ファミリからのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、BGP ルート フラップ統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip bgp flap-statistics
```

# clear ip eigrp accounting

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのプレフィクス アカウンティング情報を消去するには、**clear ip eigrp accounting** コマンドを使用します。

```
clear ip eigrp [vrf {vrf-name | *}] [instance-tag] accounting
```

シンタックスの説明	<b>vrf vrf-name</b> (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別しない) として指定できます。ストリング [default] および [all] は、予約された VRF の名前です。
	<b>vrf *</b> (任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
	<b>instance-tag</b> (任意) インスタンス タグ。このオプションは、VRF インスタンスが指定されていない場合に使用できます。インスタンス タグは、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、EIGRP アカウンティング情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip eigrp accounting
```

# clear ip eigrp neighbors

Enhanced IGRP (EIGRP) ネイバー エントリを適切なテーブルから削除して再確立するには、EXEC モードで **clear ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。

```
clear ip eigrp [instance-tag] neighbors [* | ip-address | interface-type interface-instance] [soft] [vrf
{vrf-name | *}]
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス識別情報。インスタンス タグは、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
*	(任意) すべてのネイバーを消去します。
<i>ip-address</i>	(任意) ネイバーのアドレス。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイスのタイプ。詳細については、疑問符 (?) CLI (コマンドライン インターフェイス) ヘルプ機能を使用してください。
<i>interface-instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス
	これらの引数を指定すると、指定されたインターフェイス タイプが、このインターフェイスによってすべてのエントリが学習したネイバー テーブルから削除されます。
	インターフェイスの構文の詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用してください。
<b>soft</b>	(任意) ネイバーにソフトリセットを指定します。
<i>vrf</i> { <i>vrf-name</i>   *}	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 32 文字のストリングです。

## デフォルト

Autonomous System (AS; 自律システム) 番号、インターフェイス、または VRF インスタンスが指定されていない場合、すべての EIGRP ネイバー エントリがテーブルから消去されます。

## コマンドモード

任意

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。
4.0(3)	* キーワードと <b>soft</b> キーワードを追加しました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、インターフェイス Ethernet 2/1 上のネイバーのすべての EIGRP エントリを消去する例を示します。

```
switch# clear ip eigrp vrf * neighbors ethernet 2/1
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show eigrp interfaces</code>	EIGRP に設定されたインターフェイスに関する情報を表示します。
<code>show eigrp neighbors</code>	EIGRP によって検出されたネイバーを表示します。

# clear ip eigrp policy statistics redistribute

Enhanced IGRP (EIGRP) トポロジ テーブルに再配布されたルートのポリシー統計情報を消去するには、**clear ip rip policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear ip eigrp [vrf {vrf-name | *}] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | rip id | static}
```

## シンタックスの説明

<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>   *	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 32 文字のストリングです。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を消去します。
<b>direct</b>	直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。
<b>eigrp</b>	EIGRP のポリシー統計情報を消去します。
<b>isis</b>	Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospf</b>	OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>rip</b>	Routing Information Protocol (RIP) のポリシー統計情報を消去します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。
<i>id</i>	<p><b>bgp</b> キーワードでは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は、1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は、1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードでは、ルートが再配布される EIGRP インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードでは、ルートが再配布される IS-IS インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードでは、ルートが再配布される OSPF インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p>

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(3)	このコマンドが削除され、 <b>clear ip eigrp route-map statistics</b> コマンドに置き換えられました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、RIP のポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip eigrp policy statistics redistribute rip 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show ip eigrp policy statistics	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。

# clear ip eigrp route-map statistics redistribute

Enhanced IGRP (EIGRP) トポロジ テーブルに再配布されたルートの統計情報を消去するには、**clear ip rip route-map statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear ip eigrp [vrf {vrf-name | *}] route-map statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id |
ospf id | rip id | static}
```

## シンタックスの説明

<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>   *	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 32 文字のストリングです。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を消去します。
<b>direct</b>	直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。
<b>eigrp</b>	EIGRP のポリシー統計情報を消去します。
<b>isis</b>	Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospf</b>	OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>rip</b>	Routing Information Protocol (RIP) のポリシー統計情報を消去します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。
<i>id</i>	<p><b>bgp</b> キーワードでは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は、1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は、1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードでは、ルートが再配布される EIGRP インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードでは、ルートが再配布される IS-IS インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードでは、ルートが再配布される OSPF インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p>

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。



**使用上のガイドライン** このコマンドは、**clear ip eigrp policy statistics redistribute** コマンドに置き換えられます。  
このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、RIP のポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip eigrp route-map statistics redistribute rip 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ip eigrp route-map statistics</b>	EIGRP の再配布統計情報を表示します。

# clear ip eigrp traffic

Enhanced IGRP (EIGRP) トラフィック統計情報を消去するには、**clear ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

```
clear ip eigrp [instance-tag] traffic [vrf {vrf-name | *}]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP のインスタンス。インスタンス タグは、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別しない) として指定できます。ストリング [default] および [all] は、予約された VRF の名前です。
<b>vrf</b> *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

**デフォルト** このコマンドは、VRF が指定されていない場合、デフォルトの VRF の情報を消去します。

**コマンド モード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、EIGRP トラフィック統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip eigrp traffic
```

# clear ip interface statistics

IP インターフェイス統計情報を消去するには、**clear ip interface statistics** コマンドを使用します。

**clear ip interface statistics**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、IP インターフェイス統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip interface statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip interface	IP インターフェイス情報を表示します。

## clear ip mbgp

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP; マルチプロトコル ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを BGP テーブルから消去するには、**clear ip mbgp** コマンドを使用します。

```
clear ip mbgp {neighbor | * | as-number | peer-template name | prefix} [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>neighbor</i>	ネットワーク アドレス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>as-number</i>	Autonomous System (AS; 自律システム) 番号。範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<i>peer-template name</i>	BGP ピア テンプレートを指定します。名前は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。
<i>prefix</i>	選択されたアドレス ファミリのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、IPv4 アドレス ファミリのすべての MBGP エントリを消去する例を示します。

```
switch# clear ip mbgp *
```

# clear ip mbgp dampening

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP; マルチプロトコル ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルート フラップ ダンプニング情報を消去するには、**clear ip mbgp dampening** コマンドを使用します。

```
clear ip mbgp dampening [neighbor | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明		
<i>neighbor</i>		選択されたアドレス ファミリからのネイバー。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>prefix</i>		選択されたアドレス ファミリからのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>		(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、MBGP ルート フラップ ダンプニング情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip mbgp dampening
```

## clear ip mbgp flap-statistics

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP; マルチプロトコル ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートフラップ統計情報を消去するには、**clear ip mbgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
clear ip mbgp flap-statistics [neighbor | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>neighbor</i>	選択されたアドレス ファミリからのネイバー。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D です。
<i>prefix</i>	選択されたアドレス ファミリからのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 特定の VPN Routing and Forwarding (VRF; VPN ルーティングおよび転送) インスタンスまたはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、MBGP ルートフラップ統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip mbgp flap-statistics
```

# clear ip ospf neighbor

ネイバー統計情報を消去して OSPF (Open Shortest Path First) の隣接をリセットするには、**clear ip ospf neighbor** コマンドを使用します。

```
clear ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] neighbor { * | neighbor-id | interface-type number | loopback number | port-channel number }
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 20 文字のストリングとして指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。
*	すべてのネイバーを消去します。
<i>neighbor-id</i>	消去するネイバーのネイバー ID (IP アドレスとして) を指定します。
<i>interface-type number</i>	すべてのネイバーを消去するインターフェイスを指定します。
<i>loopback number</i>	ループバック インターフェイスのすべてのネイバーを消去します。
<i>port-channel number</i>	ポート チャネル インターフェイスのすべてのネイバーを消去します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **clear ip ospf neighbor** コマンドを使用し、**show ip ospf neighbor** コマンドからのネイバー情報を消去します。 *instance-tag* 引数を使用し、1 つの OSPF インスタンスからネイバー詳細を消去します。 *instance-tag* 引数を使用しない場合、Cisco NX-OS がすべての OSPF インスタンスからネイバー詳細を消去します。 **show ip ospf neighbor** コマンドを使用し、ネイバー ID を検索します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

## ■ clear ip ospf neighbor

**例** 次に、インスタンス タグ 201 のネイバー 192.0.2.1 のすべての OSPF ネイバー詳細を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf 201 neighbor 192.0.2.1
```

次に、すべての OSPF インスタンスのすべての OSPF ネイバー詳細を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf neighbor *
```

次に、OSPF インスタンス 202 のイーサネット インターフェイス 1/2 におけるすべてのネイバーのすべての OSPF ネイバー詳細を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf 202 neighbor ethernet 1/2
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show ip ospf neighbor	ネイバー ID を含む OSPF ネイバーの詳細を表示します。



# clear ip ospf policy statistics

OSPF (Open Shortest Path First) のポリシー統計情報を消去するには、**clear ip ospf policy statistics** コマンドを使用します。

```
clear ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] policy statistics {area area-id filter-list {in | out} | redistribute
{bgp autonomous-system | direct | eigrp autonomous-system | isis id | ospf id | rip id | static}}
```

## シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 20 文字のストリングとして指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。
<i>area</i>	エリアのポリシー統計情報を消去します。
<i>area-id</i>	エリア ID (整数) または IP アドレス
<i>filter-list</i>	OSPF エリア間のフィルタ処理されたプレフィックスのポリシー統計情報を指定します。
<i>in</i>	この OSPF エリアに送信されたプレフィックスをフィルタ処理します。
<i>out</i>	この OSPF エリアから送信されたプレフィックスをフィルタ処理します。
<i>redistribution</i>	OSPF 経路再配布統計情報を消去します。
<i>bgp autonomous-system</i>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) の Autonomous System (AS; 自律システム) 番号を指定します。AS 番号は、x.y (範囲は、x と y の両方とも 1 ~ 65535) または 1 つの整数 (範囲は 1 ~ 65535) として指定します。
<i>direct</i>	直接接続されたルートを指定します。
<i>eigrp autonomous-system</i>	Enhanced IGRP (EIGRP) の AS 番号を指定します。範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>isis id</i>	Intermediate System to Intermediate System (IS-IS) インスタンスを指定します。id 引数を任意の英数字のストリングとして指定します。
<i>ospf id</i>	OSPF バージョン 2 インスタンスを指定します。id 引数を任意の英数字のストリングとして指定します。
<i>rip id</i>	Routing Information Protocol (RIP) インスタンスを指定します。id 引数を任意の英数字のストリングとして指定します。
<i>static</i>	スタティック ルートを指定します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

**clear ip ospf statistics** コマンドを使用し、**show ip ospf policy statistics** コマンドで表示されるポリシー統計情報を学習します。*instance-tag* 引数を使用し、1つの OSPF インスタンスからポリシー統計情報を消去します。インスタンス タグを指定しない場合、

Cisco NX-OS は、すべての OSPF インスタンスからポリシー統計情報を消去します。**show ip ospf policy statistics** コマンドを使用し、消去している統計情報を表示します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例**

次に、OSPF 201 のエリア 99 のインバウンドフィルタ処理されたルートすべての OSPF ポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf 201 policy statistics area 99 filter-list in
```

次に、OSPF 202 のすべての BGP 再配布ルートすべての OSPF ポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf 202 policy statistics redistribute bgp
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ip ospf policy statistics</b>	OSPF ポリシーの詳細を表示します。

# clear ip ospf statistics

OSPF (Open Shortest Path First) のイベント統計情報を消去するには、**clear ip ospf statistics** コマンドを使用します。

```
clear ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] statistics
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 20 文字のストリングとして指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **clear ip ospf statistics** コマンドを使用し、1 つまたは複数の OSPF インスタンスからイベント統計情報を消去します。*instance-tag* 引数を指定しない場合、Cisco NX-OS は、すべての OSPF インスタンスから統計情報を消去します。**show ip ospf statistics** コマンドを使用し、消去している統計情報を表示します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、すべての OSPF イベント統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip ospf statistics</b>	OSPF のイベント統計情報を表示します。

# clear ip ospf traffic

OSPF (Open Shortest Path First) のトラフィック統計情報を消去するには、**clear ip ospf traffic** コマンドを使用します。

```
clear ip ospf [instance-tag] traffic [interface] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 20 文字のストリングとして指定します。
<i>interface</i>	(任意) トラフィック統計情報を消去するインターフェイス。? オプションを使用し、インターフェイス オプションを調べます。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(3)	<i>interface</i> 引数を追加しました。

**使用上のガイドライン** **clear ip ospf traffic** コマンドを使用し、1 つまたは複数の OSPF インスタンスからトラフィック統計情報を消去します。*instance-tag* 引数を指定しない場合、Cisco NX-OS は、すべての OSPF インスタンスからトラフィック統計情報を消去します。**show ip ospf traffic statistics** コマンドを使用し、消去している統計情報を表示します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、OSPF 100 の OSPF トラフィック統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip ospf 100 traffic
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip ospf traffic statistics</b>	OSPF トラフィック統計情報を表示します。

# clear ip rip policy statistics redistribute

Routing Information Protocol (RIP) トポロジ テーブルに再配布されたルートのポリシー統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ip rip policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear ip rip [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3 id | static}
```

## シンタックスの説明

<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。長さは英数字で最大 32 文字です。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を消去します。
<b>direct</b>	直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。
<b>eigrp</b>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を消去します。
<b>isis</b>	Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospf</b>	OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospfv3</b>	OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。
<b>id</b>	<p><b>bgp</b> キーワードでは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は、1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は、1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードでは、ルートが再配布される EIGRP インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードでは、ルートが再配布される IS-IS インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードでは、ルートが再配布される OSPF インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p>

## デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

## コマンド モード

任意

## サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

## ■ clear ip rip policy statistics redistribute

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、EIGRP のポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show ip rip policy statistics	RIP のポリシー統計情報を表示します。

# clear ip rip statistics

Routing Information Protocol (RIP) 統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ip rip statistics** コマンドを使用します。

```
clear ip rip [vrf vrf-name] statistics [interface type instance]
```

シンタックスの説明		
<b>vrf</b> [ <i>vrf-name</i> ]	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は英数字で最大 32 文字です。	
<b>interface</b> <i>type instance</i>	(任意) トポロジエントリを消去するインターフェイスを指定します。	

**デフォルト** このコマンドにはデフォルト設定がありません。

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、すべての RIP 統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip rip statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show rip statistics</b>	RIP プロセスのデータベースおよびインターフェイス エントリ情報を表示します。

# clear ipv6 rip policy statistics redistribute

Routing Information Protocol (RIP) トポロジ テーブルに再配布されたルートのポリシー統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ipv6 rip policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear ipv6 rip [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3 id | static}
```

## シンタックスの説明

<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は英数字で最大 32 文字です。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を消去します。
<b>direct</b>	直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。
<b>eigrp</b>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を消去します。
<b>isis</b>	Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospf</b>	OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospfv3</b>	OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。
<b>id</b>	<p><b>bgp</b> キーワードでは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は、1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は、1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードでは、ルートが再配布される EIGRP インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードでは、ルートが再配布される IS-IS インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードでは、ルートが再配布される OSPF インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p>

## デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

## コマンド モード

任意

## サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。



**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、EIGRP のポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show ipv6 rip policy statistics</code>	RIP のポリシー統計情報を表示します。

# clear ipv6 rip statistics

Routing Information Protocol (RIP) 統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ip rip statistics** コマンドを使用します。

```
clear ipv6 rip [vrf vrf-name] statistics [interface type instance]
```

シンタックスの説明		
<b>vrf</b> [ <i>vrf-name</i> ]	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は英数字で最大 32 文字です。	
<b>interface</b> <i>type instance</i>	(任意) トポロジエントリを消去するインターフェイスを指定します。	

**デフォルト** このコマンドにはデフォルト設定がありません。

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、すべての RIP 統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 rip statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show rip statistics</b>	RIP プロセスのデータベースおよびインターフェイス エントリ情報を表示します。

# clear ip route

ユニキャスト Routing Information Base (RIB) から個々のルートを消去するには、**clear ip route** コマンドを使用します。

```
clear ip route [* | addr | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
*	(任意) すべてのルートを消去します。
addr	(任意) このルートを消去します。フォーマットは x.x.x.x です。
addr	(任意) このプレフィクスを消去します。フォーマットは x.x.x.x/length です。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール  
 ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear ip route** コマンドを使用し、ルート テーブルから個々のルートを消去します。



(注) \* キーワードを使用すると、ルーティングが激しく妨害されます。

このコマンドではライセンスは不要です。

例 次に、個々のルートを消去する例を示します。

```
switch(config)# clear ip route 192.0.2.1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip route	ルート テーブル内のエントリを表示します。

# clear ip traffic

IP トラフィック情報を消去するには、**clear ip traffic** コマンドを使用します。

**clear ip traffic**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、IP トラフィック情報を消去する例を示します。

```
switch(config)# clear ip traffic
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip traffic	IP トラフィック情報を表示します。

# clear ipv6 adjacency statistics

隣接統計情報を消去するには、**clear ipv6 adjacency statistics** コマンドを使用します。

**clear ipv6 adjacency statistics**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、隣接統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 adjacency statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 adjacency	隣接情報を表示します。

# clear ipv6 icmp interface statistics

Internet Control Message Protocol version 6 (ICMPv6) に関する統計情報を消去するには、**clear ipv6 icmp interface statistics** コマンドを使用します。

**clear ipv6 icmp interface statistics** [*type number*]

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>type</i>	(任意) インターフェイスのタイプ。 <b>?</b> を使用し、サポートされているインターフェイスのリストを調べます。
	<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <b>?</b> を使用し、範囲を調べます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、ICMPv6 統計情報を消去する例を示します。

```
switch(config-if)# clear ipv6 icmp interface statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 icmp</b>	インターフェイスに ICMPv6 を設定します。

# clear ipv6 nd interface statistics

Neighbor Discovery (ND; 近隣探索) に関する情報を消去するには、**clear ipv6 nd interface statistics** コマンドを使用します。

**clear ipv6 nd interface statistics** [*type number*]

シンタックスの説明	説明
<i>type</i>	(任意) インターフェイスのタイプ。 <b>?</b> を使用し、サポートされているインターフェイスのリストを調べます。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <b>?</b> を使用し、範囲を調べます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、ND 情報を消去する例を示します。

```
switch(config-if)# clear ipv6 nd interface statistics
N
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 nd</b>	インターフェイスに Internet Control Message Protocol version 6 (ICMPv6) ND を設定します。

# clear ipv6 neighbor

IPv6 ネイバーを消去するには、**clear ipv6 neighbor** コマンドを使用します。

**clear ipv6 neighbor** [*type number*]

シンタックスの説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイスのタイプ。? を使用し、サポートされているインターフェイスのリストを調べます。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。? を使用し、範囲を調べます。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 任意のコマンドモード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **clear ipv6 neighbor** コマンドを使用し、IPv6 隣接関係テーブルを消去します。  
このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、IPv6 ネイバーを消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 neighbor
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ipv6 nd</b>	インターフェイスに Internet Control Message Protocol version 6 (ICMPv6) ND を設定します。



# clear ip rip policy statistics redistribute

Routing Information Protocol (RIP) トポロジ テーブルに再配布されたルートのポリシー統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ipv6 rip policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear ip rip [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3 id | static}
```

## シンタックスの説明

<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。長さは英数字で最大 32 文字です。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を消去します。
<b>direct</b>	直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。
<b>eigrp</b>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を消去します。
<b>isis</b>	Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospf</b>	OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospfv3</b>	OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。
<b>id</b>	<p><b>bgp</b> キーワードでは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は、1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は、1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードでは、ルートが再配布される EIGRP インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードでは、ルートが再配布される IS-IS インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードでは、ルートが再配布される OSPF インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p>

## デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

## コマンド モード

任意

## サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

## ■ clear ip rip policy statistics redistribute

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、EIGRP のポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show ip rip policy statistics	RIP のポリシー統計情報を表示します。

# clear ip rip statistics

Routing Information Protocol (RIP) 統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ip rip statistics** コマンドを使用します。

```
clear ip rip [vrf vrf-name] statistics [interface type instance]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>vrf</b> [ <i>vrf-name</i> ]	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は英数字で最大 32 文字です。
	<b>interface</b> <i>type instance</i>	(任意) トポロジエントリを消去するインターフェイスを指定します。

**デフォルト** このコマンドにはデフォルト設定がありません。

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、すべての RIP 統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ip rip statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show rip statistics</b>	RIP プロセスのデータベースおよびインターフェイス エントリ情報を表示します。

## clear ipv6 rip policy statistics redistribute

Routing Information Protocol (RIP) トポロジ テーブルに再配布されたルートのポリシー統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ipv6 rip policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear ipv6 rip [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3 id | static}
```

### シンタックスの説明

<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は英数字で最大 32 文字です。
<b>bgp</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を消去します。
<b>direct</b>	直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。
<b>eigrp</b>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を消去します。
<b>isis</b>	Intermediate-System to Intermediate-System (IS-IS) ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospf</b>	OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>ospfv3</b>	OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。
<b>static</b>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。
<b>id</b>	<p><b>bgp</b> キーワードでは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は、1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は、1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p><b>eigrp</b> キーワードでは、ルートが再配布される EIGRP インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>isis</b> キーワードでは、ルートが再配布される IS-IS インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p> <p><b>ospf</b> キーワードでは、ルートが再配布される OSPF インスタンスの名前です。値はストリングの形式をとります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこの値をストリングとして内部に保存します。</p>

### デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

### コマンド モード

任意

### サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、EIGRP のポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show ipv6 rip policy statistics</code>	RIP のポリシー統計情報を表示します。

# clear ipv6 rip statistics

Routing Information Protocol (RIP) 統計情報を消去するには、任意のモードで **clear ip rip statistics** コマンドを使用します。

```
clear ipv6 rip [vrf vrf-name] statistics [interface type instance]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<code>vrf [<i>vrf-name</i>]</code>	(任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名は英数字で最大 32 文字です。
	<code>interface <i>type instance</i></code>	(任意) トポロジエントリを消去するインターフェイスを指定します。

**デフォルト** このコマンドにはデフォルト設定がありません。

**コマンドモード** 任意

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、すべての RIP 統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ipv6 rip statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show rip statistics</code>	RIP プロセスのデータベースおよびインターフェイス エントリ情報を表示します。

# clear ip route

ユニキャスト Routing Information Base (RIB) から個々のルートを消去するには、**clear ip route** コマンドを使用します。

```
clear ip route [* | addr | prefix] [vrf vrf-name]
```

## シンタックスの説明

<b>*</b>	(任意) すべてのルートを消去します。
<b>addr</b>	(任意) このルートを消去します。フォーマットは x.x.x.x です。
<b>addr</b>	(任意) このプレフィクスを消去します。フォーマットは x.x.x.x/length です。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、英数字で最大 64 文字の任意のストリング (大文字と小文字を区別) です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
 ネットワーク オペレータ  
 VDC 管理者  
 VDC オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(3)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**clear ip route** コマンドを使用し、ルート テーブルから個々のルートを消去します。



(注)

\* キーワードを使用すると、ルーティングが激しく妨害されます。

このコマンドではライセンスは不要です。

## 例

次に、個々のルートを消去する例を示します。

```
switch(config)# clear ip route 192.0.2.1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip route</b>	ルート テーブル内のエントリを表示します。

# clear ip traffic

IP トラフィック情報を消去するには、**clear ip traffic** コマンドを使用します。

**clear ip traffic**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンド モード** 任意のコマンド モード

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ  
VDC 管理者  
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドではライセンスは不要です。

**例** 次に、IP トラフィック情報を消去する例を示します。

```
switch(config)# clear ip traffic
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip traffic	IP トラフィック情報を表示します。



## clear ospfv3 neighbor

ネイバー統計情報を消去して OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) の隣接をリセットするには、**clear ospfv3 neighbor** コマンドを使用します。

```
clear ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] neighbor {* | neighbor-id | interface-type number | loopback number | port-channel number}
```

### シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 32 文字のストリングとして指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPFv3 Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([ <i>default</i> ] と [ <i>all</i> ] を除く)。
*	すべてのネイバーを消去します。
<i>neighbor-id</i>	消去するネイバーのネイバー ID (IP アドレスとして) を指定します。
<i>interface-type number</i>	すべてのネイバーを消去するインターフェイスを指定します。
<i>loopback number</i>	ループバック インターフェイスのすべてのネイバーを消去します。
<i>port-channelnumber</i>	ポート チャネル インターフェイスのすべてのネイバーを消去します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

任意

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**clear ospfv3 neighbor** コマンドを使用し、**show ospfv3 neighbors** コマンドからのネイバー情報を消去します。*instance-tag* 引数を使用し、1 つの OSPFv3 インスタンスからネイバー詳細を消去します。*instance-tag* 引数を使用しない場合、Cisco NX-OS がすべての OSPFv3 インスタンスからネイバー詳細を消去します。**show ospfv3 neighbors** コマンドを使用し、ネイバー ID を検索します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

## ■ clear ospfv3 neighbor

**例** 次に、インスタンス タグ 201 のネイバー 192.0.2.1 のすべての OSPFv3 ネイバー詳細を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 201 neighbor 192.0.2.1
```

次に、すべての OSPFv3 インスタンスのすべての OSPFv3 ネイバー詳細を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 neighbor *
```

次に、OSPFv3 インスタンス 202 のイーサネット インターフェイス 1/2 におけるすべてのネイバーのすべての OSPFv3 ネイバー詳細を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 202 neighbor ethernet 1/2
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show ospfv3 neighbor</code>	ネイバー ID を含む OSPFv3 ネイバーの詳細を表示します。

# clear ospfv3 policy statistics

OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) のポリシー統計情報を消去するには、**clear ospfv3 policy statistics** コマンドを使用します。

```
clear ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] policy statistics {area area-id filter-list {in | out} | redistribute
{bgp autonomous-system | direct | isis id | rip id | static}}
```

## シンタックスの説明

<b>instance-tag</b>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 32 文字のストリングとして指定します。
<b>vrf vrf-name</b>	(任意) OSPFv3 Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。vrf-name 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。
<b>area</b>	エリアのポリシー統計情報を消去します。
<b>area-id</b>	エリア ID (整数) または IP アドレス
<b>filter-list</b>	OSPFv3 エリア間のフィルタ処理されたプレフィクスのポリシー統計情報を指定します。
<b>in</b>	この OSPFv3 エリアに送信されたプレフィクスをフィルタ処理します。
<b>out</b>	この OSPFv3 エリアから送信されたプレフィクスをフィルタ処理します。
<b>redistribution</b>	OSPFv3 経路再配布統計情報を消去します。
<b>bgp autonomous-system</b>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) の Autonomous System (AS; 自律システム) 番号を指定します。AS 番号は、x.y (範囲は、x と y の両方とも 1 ~ 65535) または 1 つの整数 (範囲は 1 ~ 65535) として指定します。
<b>direct</b>	直接接続されたルートを指定します。
<b>isis id</b>	Intermediate System to Intermediate System (IS-IS) インスタンスを指定します。id 引数を任意の英数字のストリングとして指定します。
<b>rip id</b>	Routing Information Protocol (RIP) インスタンスを指定します。id 引数を任意の英数字のストリングとして指定します。
<b>static</b>	スタティック ルートを指定します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

任意

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

**clear ospfv3 statistics** コマンドを使用し、**show ospfv3 policy statistics** コマンドで表示されるポリシー統計情報を学習します。*instance-tag* 引数を使用し、1つの OSPFv3 インスタンスからポリシー統計情報を消去します。インスタンス タグを指定しない場合、

Cisco NX-OS は、すべての OSPFv3 インスタンスからポリシー統計情報を消去します。**show ospfv3 policy statistics** コマンドを使用し、消去している統計情報を表示します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例**

次に、OSPFv3 201 のエリア 99 のインバウンドフィルタ処理されたルートすべての OSPFv3 ポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 201 policy statistics area 99 filter-list in
```

次に、OSPFv3 202 のすべての BGP 再配布ルートすべての OSPFv3 ポリシー統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 202 policy statistics redistribute bgp
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ospfv3 policy statistics</b>	OSPFv3 ポリシーの詳細を表示します。

# clear ospfv3 statistics

OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) のイベント統計情報を消去するには、**clear ospfv3 statistics** コマンドを使用します。

```
clear ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] statistics
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 32 文字のストリングとして指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPFv3 Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **clear ospfv3 statistics** コマンドを使用し、1 つまたは複数の OSPFv3 インスタンスからイベント統計情報を消去します。*instance-tag* 引数を指定しない場合、Cisco NX-OS は、すべての OSPFv3 インスタンスから統計情報を消去します。**show ospfv3 statistics** コマンドを使用し、消去している統計情報を表示します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、すべての OSPFv3 イベント統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ospfv3 statistics</b>	OSPFv3 のイベント統計情報を表示します。

# clear ospfv3 traffic

OSPFv3 (Open Shortest Path First バージョン 3) のトラフィック統計情報を消去するには、**clear ospfv3 traffic** コマンドを使用します。

```
clear ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] traffic
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字で最大 32 文字のストリングとして指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPFv3 Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前を指定します。 <i>vrf-name</i> 引数は、英数字で最大 32 文字の任意のストリングです ([default] と [all] を除く)。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **clear ospfv3 traffic** コマンドを使用し、1 つまたは複数の OSPFv3 インスタンスからトラフィック統計情報を消去します。*instance-tag* 引数を指定しない場合、Cisco NX-OS は、すべての OSPFv3 インスタンスからトラフィック統計情報を消去します。**show ospfv3 traffic statistics** コマンドを使用し、消去している統計情報を表示します。

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

**例** 次に、OSPFv3 100 の OSPFv3 トラフィック統計情報を消去する例を示します。

```
switch# clear ospfv3 100 traffic
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ospfv3 traffic statistics</b>	OSPFv3 トラフィック統計情報を表示します。

# clear route-map pbr-statistics

ルート マップのポリシーベースの統計情報を消去するには、**clear route-map pbr statistics** コマンドを使用します。

**clear route-map name pbr-statistics**

シンタックスの説明	<i>name</i>	ルート マップの名前。名前は、英数字で最大 63 文字の任意のストリングです。
-----------	-------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意
----------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	<b>clear route-map pbr-statistics</b> コマンドを使用し、 <b>route-map pbr-statistics</b> コマンドによってイネーブルにされたポリシーベース ルーティング統計情報を消去します。
------------	--

このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

例	次に、ルート マップのポリシーベース ルーティング統計情報を消去する例を示します。
---	---

```
switch# clear route-map testmap pbr-statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>route-map pbr-statistics</b>	ルート マップのポリシーベース ルーティング統計情報をイネーブルにします。

# confederation

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) に連合パラメータを設定するには、**confederation** コマンドを使用します。

```
confederation {identifier | peers} as-number
```

シンタックスの説明	identifier	ルーターティング ドメイン連合 Autonomous System (AS; 自律システム) 番号を設定します。
	peers	BGP 連合にピア AS 番号を設定します。
	as-number	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数>の形式における 16 ビットの整数または 32 ビットの整数になります。

デフォルト なし

コマンドモード ルーター コンフィギュレーション モード  
ルーター VRF モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドでは Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、連合識別情報を設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# router bgp 33.33
switch(config-router)# confederation identifier 33.33
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show bgp	BGP に関する情報を表示します。